

平成 26 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No. 8）

平成 26 年 8 月 18 日

鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

向こう 1 か月の気象予報によると、気温は低く、降水量は多いと予想されており、いもち病の発生に助長的である。今後、中生品種が出穂期を迎えるが、穂いもちの発生が懸念されるため、穂ばらみ期および穂揃い期の防除を徹底する必要がある。

2 発生状況等（平成 26 年 7 月 15 日付、病害虫発生予察注意報第 3 号発表）

- （1）ブラスタムによる葉いもちの感染好適日又は準感染好適日は、8 月 15 日、17 日に広域で出現した（表 1）。

表1 ブラスタムによる感染好適日の出現状況

- （2）先週から気温の低い日が続き、曇雨天で経過したため、病勢回復が予想される。
- （3）今後、中生品種が出穂期を迎えるが、向こう 1 か月の気象予報によると、期間のはじめは曇りや雨の日が続き、気温がかなり低くなると予想されており、本病の発生に助長的である。
- （4）主要品種（ひとめぼれ・コシヒカリ）等、大部分のほ場では、穂ばらみ期～穂揃い期が曇雨天で経過した。

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
8/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/7	-	-	-	-	-	-	○	-	-
8/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/9	-	-	-	-	-	-	-	-	●
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/11	-	-	-	-	-	-	-	-	●
8/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8/15	○	-	○	-	○	-	○	○	-
8/16	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8/17	○	-	●	-	●	-	●	-	●

注）●感染好適日、○準感染好適日

3 防除上注意すべき事項

- （1）きぬむすめ・日本晴等、中生品種栽培ほ場

これから出穂期を迎えるので、穂ばらみ期および穂揃い期の 2 回、いもち病単剤又はこれらを含む混合剤の粉剤、水和剤などを用いて防除を徹底する。周辺ほ場でいもち病が発生している場合は特に注意する。

降雨が続く場合は、雨の止み間をみて防除を行う。この場合、散布後約 3 時間経過すれば、降雨の影響は少ない。

- （2）ひとめぼれ・コシヒカリ等、早生品種栽培ほ場

穂揃い期防除を行っていない場合は、粉剤、水和剤などを用いて直ちに防除する。

上位葉における発病が多く、穂いもちの多発生が予想される場合は、傾穂期（穂揃い期の 7 ～ 10 日後）の防除を追加する。

- （3）防除に当たっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。特に、葉いもちの追加防除を行ったほ場では、農薬の総使用回数を超えないよう十分注意して穂いもち防除を行う。